

ネイチャーセンターだより



yuki

コオリガモ

Long-tailed Duck

ネイチャーセンターの望遠鏡で海上を探してみると、冬の海にもカモの姿を見ることができます。

その中でも、白と黒で英語の名前のとおり長い尾（Long は長い、tale は尾）のコオリガモの姿は多く見られ、また目立ちます。

根室半島の漁港などでも観察ができ、時には岸壁のすぐ近くで海に潜る様子や、大変特徴的な「アオナ！」という声を聞くことができます。

3月になると、冬の白黒模様から、まるで別の種類の鳥になってしまったような黒褐色の夏の羽に変わっていく個体もいます。（Y）

2 & 3 月のイベント

サンセットライブ

日時 3月12日(日)
15:00 開場
15:15 ~ 16:30



対象：どなたでも
申込：当日、直接センターにお越しください

概要：釧路管内中心に活動するボーカルグループ「ジョイアス」のライブを行ないます。
(演奏予定：アメージンググレイス、翼をください etc...)
さまざまなジャンルの美しいハーモニーを聞かせてくれます。その他、風蓮湖・春国岱の美しい風景のスライドの上映もします。

<お申込み・お問合せ先：ネイチャーセンター>

TEL 0153 - 25 - 3047

ラムサールクイズ

日時：随時開催中
開園時間 9:00 ~ 16:30



対象：どなたでも（内容は小学生以上）
申込：ネイチャーセンターのレンジャーコーナー

概要：「風蓮湖・春国岱」がラムサール条約湿地に登録されて、3ヶ月になりました。いろんなところでラムサールのことを見聞きしたと思います。皆さんがどのくらいラムサールについて知っているかクイズにしてみました。チャレンジを待っています！！
(参加者にはシールのプレゼントがあるよ！)

現在、4月以降のイベントを検討中です。
来年度も楽しいイベントを行っていきたく思います。ご参加、お待ちしております。

じょうやく ラムサール条約 を知ろう! (第7回)

今回は、「風蓮湖・春国岱」がラムサール条約湿地に登録されて行った行事などを紹介したいと思います。



昨年、11月20日に、「風蓮湖・春国岱」、「野付半島・野付湾」のラムサール条約湿地登録を祝う記念式典が、道立北方四島交流センター（二・ホ・ロ）で開かれた。そこでは、登録認定証の伝達や記念講演が行われた。また、全国から公募したロゴマークの発表があり、風蓮湖、野付半島の地形をラムサールの頭文字「R」に見立て、そこにやってくる代表的な鳥のオオハクチョウをモデルに作られた仙台市の佐藤氏の作品が選ばれました。

このほか、「風蓮湖の魅力を探るバスツアー」や「渡り鳥の国際空港 風蓮湖・春国岱 で渡り鳥を見よう!」を行い、イベントを通じて、風蓮湖や水鳥、湿地、ラムサールについて知っていただく機会を作りました。また、ねむろ自然ガイド・ラクルの皆さんが、「春国岱の森を訪ねるツアー」というイベント実施し、地域の皆さんが、参加者を案内することもありました。

また、市内の小中学校にレンジャーが訪問して、ラムサール条約やタンチョウについての授業なども行い、さまざまな機会に、ラムサールについてのお話や行事を行ってきましたが、まだ、よく分からないぞ? という方はぜひネイチャーセンターにおこしてください。『ラムサールクイズ』を行っています。簡単なクイズでラムサールがよく分かり、参加者にはシールのプレゼントがあります。



ラムサール条約は、地域住民の参加も呼びかけています。ぜひ来年度のイベントなどに参加して、風蓮湖・春国岱に触れ、活動の場としていってください。お待ちしております。

自然情報

～ 2&3月にこんなの見られます～



風蓮湖も全面結氷して、氷と雪にとざされた白い世界が広がります。

暖かい格好をして春国岱・自然学習林へ、いろいろな種類の鳥や動物を探しにでかけよう！



ハギマシコ

展望塔付近の海岸では、ハギマシコの群れが冬を過ごしています。海辺に作業用の圧雪路があり、そこを歩いていくと見られると思います。海からの風が冷たいので、防寒着・帽子・手袋もお忘れなく。



ワシは北へ



カモは南から

春の渡り

3月になり、湖の氷が解け始めると、春国岱を離れて冬を越していたタンチョウやオオハクチョウ、カモの仲間が戻ってきます。また、オオワシやオジロワシは北へ帰り、数が少なくなります。



春国岱



動物

エゾシカの群れが海岸の浜辺でエサを探して食べているのが見られます。その他、雪の上には、エゾリスやネズミの仲間、キタキツネなどの足跡がてんと付いていることも。姿は見えなくても、元気に冬を過ごしています。



シマエナガ



ゴジュウカラ



シジュウカラ

カラ&ケラ

シジュウカラ・ゴジュウカラなどのカラ類、アカゲラ・コゲラなどのケラ類が森の中でよく見られます。一年中見られる仲間が多いですが、春になり葉が茂るようになると見つけにくくなります。今が探しやすい季節です！

お知らせ

海から強い風が吹き、体感温度が下がります。防寒対策(帽子・手袋も)もお忘れなく。

積雪や凍結により滑りやすい場所があります。足元に気をつけて歩いてください。



春国岱



1月23日に、風蓮湖のワシ類のカウント調査に行ってきました。風蓮湖一帯でオオワシ、オジロワシが771羽見られました。今年は、氷が厚いためか漁師さんの氷下待網漁の仕掛けが沖に設置されていて、ワシたちとの距離は少し遠いのですが、カウントしていると氷の上に黒い大きな影がうつり、何かと思い見上げるとオオワシが真上にいました。観察の道具がなくても雄大なワシの姿を間近に見ることができました。上空で旋回し、急降下で氷の上の魚に舞い降りて捕まえる姿はさすがと思わせませす。しかし、氷の上に降りて歩く姿は意外とかわいく見え、仲間同士で魚の取り合いをしている姿も見られます。じっくり見ていると野生生物のいろいろな生活の一部が見られ、いつも新しい気づきに出会えます。

ボランティアグループ「スルク」のご案内

「スルク」はネイチャーセンターの活動を支援、発展させるボランティアグループ。老若男女、様々な方々が活動しています。現在、以下のプロジェクトが進行中です！ご興味ある方は、ネイチャーセンターまで、ご連絡ください！！

「スルク」のプロジェクト

- | | |
|------------------|-------------------|
| 樹名板・オブジェ補修プロジェクト | 紙芝居プロジェクト |
| エゾシカ食害調査プロジェクト | 広報プロジェクト |
| 春国岱ガイドウォークプロジェクト | ネイチャーセンター祭りプロジェクト |
- など



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

団体向けプログラムのご案内



- 野外解説 (1~2時間 / 10~20名)
- 自然のお話 (25分 / 10~45名)
- 自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)
- タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限らせていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL0153-25-3047 FAX0153-25-8570

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

開館時間 2・3月 9:00~16:30

▼ 2月の休館日 1・8・13・15・22日

▼ 3月の休館日 1・8・15・22・23・29日

2006.2発行